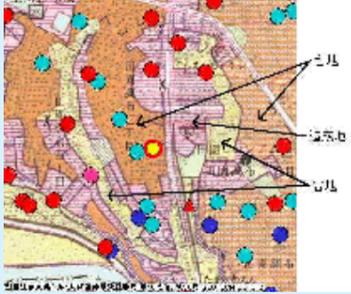
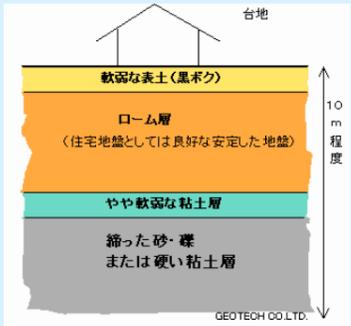
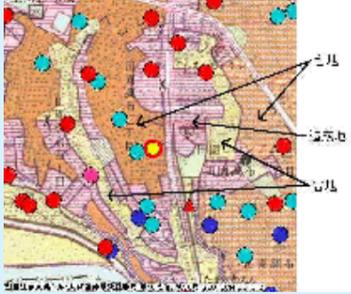
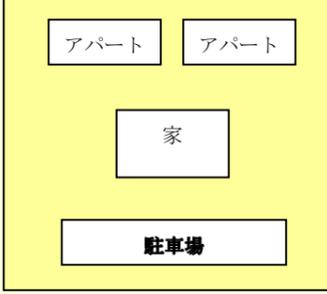
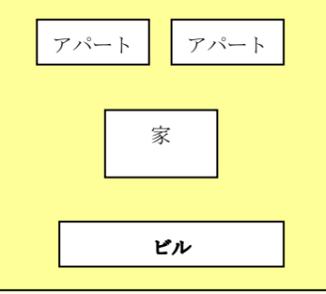
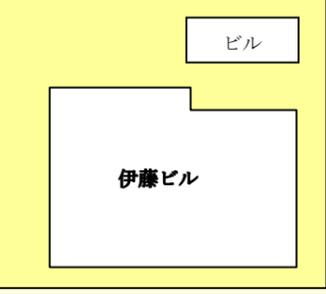


【 戸建住宅対象 】 地盤の軟弱診断		【 方法 】	【 診断結果 】 ^{注1}
① 地形の状況	調査地周辺道路地図および地形分類図（土地条件図） 調査地の地形	GEODAS 簡易地盤診断から、調査地の地形の状況を診断します。	 調査地の地形は、土地条件図より 台地 と判断しました。一般に、「台地」は地形的に高台に当たるため水はけが良く地盤は乾いて締っています。
② 地層・地盤	推定地層断面図 軟弱地盤確率	GEODAS 簡易地盤診断から、良好地盤、あるいは、軟弱地盤かを推測します。	付近一帯の台地には「関東ローム層」が堆積しており、戸建住宅程度の建築物を支持する地盤としては比較的良好な地盤と推定されます。（建物が鉄筋コンクリート造などの重量構造物であれば、たとえ関東ローム層であってもそのまま支持させることについては注意を要します）
③ 地震と地盤	“わが家の耐震診断”の「地盤分類」	GEODAS 簡易地盤診断から、耐震診断の情報として地盤の分類を判断	GEODAS 簡易地盤診断から、調査地の地盤は洪積地盤であるため、“わが家の耐震診断”では「良い・普通」となります。



土壌の分析調査		⑧土壌の含有量分析 ^{注4,5,6}																																									
土壌採取：平成 15 年 12 月 2 日 採取位置：別冊の調査位置図に示す 5 地点 試料数：5 地点を混合し、1 検体として分析 分析項目：9 項目 分析方法：別冊の濃度計量証明書を参照 計量証明事業者：株式会社〇〇〇		<table border="1"> <thead> <tr> <th>分析項目</th> <th>含有量</th> <th>判定</th> <th>含有量基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カドミウム</td> <td>不検出 mg/kg</td> <td><</td> <td>150 mg/kg</td> </tr> <tr> <td>六価クロム</td> <td>不検出 mg/kg</td> <td><</td> <td>250 mg/kg</td> </tr> <tr> <td>遊離シアン</td> <td>不検出 mg/kg</td> <td><</td> <td>50 mg/kg</td> </tr> <tr> <td>水銀</td> <td>不検出 mg/kg</td> <td><</td> <td>15 mg/kg</td> </tr> <tr> <td>セレン</td> <td>不検出 mg/kg</td> <td><</td> <td>150 mg/kg</td> </tr> <tr> <td>鉛</td> <td>不検出 mg/kg</td> <td><</td> <td>150 mg/kg</td> </tr> <tr> <td>砒素</td> <td>不検出 mg/kg</td> <td><</td> <td>150 mg/kg</td> </tr> <tr> <td>ふっ素</td> <td>不検出 mg/kg</td> <td><</td> <td>4000 mg/kg</td> </tr> <tr> <td>ほう素</td> <td>不検出 mg/kg</td> <td><</td> <td>4000 mg/kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記“不検出”は定量下限値以下を示す</p>		分析項目	含有量	判定	含有量基準値	カドミウム	不検出 mg/kg	<	150 mg/kg	六価クロム	不検出 mg/kg	<	250 mg/kg	遊離シアン	不検出 mg/kg	<	50 mg/kg	水銀	不検出 mg/kg	<	15 mg/kg	セレン	不検出 mg/kg	<	150 mg/kg	鉛	不検出 mg/kg	<	150 mg/kg	砒素	不検出 mg/kg	<	150 mg/kg	ふっ素	不検出 mg/kg	<	4000 mg/kg	ほう素	不検出 mg/kg	<	4000 mg/kg
分析項目	含有量	判定	含有量基準値																																								
カドミウム	不検出 mg/kg	<	150 mg/kg																																								
六価クロム	不検出 mg/kg	<	250 mg/kg																																								
遊離シアン	不検出 mg/kg	<	50 mg/kg																																								
水銀	不検出 mg/kg	<	15 mg/kg																																								
セレン	不検出 mg/kg	<	150 mg/kg																																								
鉛	不検出 mg/kg	<	150 mg/kg																																								
砒素	不検出 mg/kg	<	150 mg/kg																																								
ふっ素	不検出 mg/kg	<	4000 mg/kg																																								
ほう素	不検出 mg/kg	<	4000 mg/kg																																								
 <p>表層土壌（50cm）の土壌の採取状況</p>		【 診断結果 】 採取した土壌はローム主体の茶褐色の盛土で、小礫、碎石、草根、レンガ片などを混入しています。 土壌から、含有量基準を超える有害物質は検出されていないため、直接摂取のリスクは低いと評価されます。 しかし、土壌の採取位置は、限定されたため、この分析結果が敷地全体を評価するものではありません。このため、直接摂取のリスクは“ 低～中 ”と評価されます。																																									

土地の履歴調査		【 根拠資料 】	【 判定 】 平成 15 年 12 月 9 日時点	関係法令の調査から、対象とする敷地の法的制限は確認できません。
注2	④ 土壌汚染状況調査対象 (有害物質使用特定施設)	特定施設届出事業者名簿 (東京都庁調べ)	水質汚濁防止法に基づく届出事業者名簿 昭和 46 年度～平成 15 年度 非該当 下水道法・東京都下水道条例に基づく届出事業者名簿 平成 11 年度, 13 年度, 14 年度 非該当	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>昭和 30 年代～昭和 48 年頃</p>  <p>アパート 2棟 家 1棟 駐車場 1棟</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>昭和 49 年頃～平成 2 年頃</p>  <p>アパート 2棟 家 1棟 ビル 1棟</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>平成 3 年頃～現在 (平成 15 年)</p>  <p>ビル 1棟 伊藤ビル</p> </div> </div> <p>調査地は、ビルとなり、事務所等に利用されている。平成3年の地図によれば、“(仮)伊藤ビル”と表記されており、恐らく、この前後に建設されたと思われる。</p>
	⑤ 指定区域・台帳	指定区域台帳 (東京都庁調べ)	指定区域として指定されて いない 都道府県知事の措置命令が発せられて いない 過去に指定区域として指定された履歴 無	
注3	⑥ 土地利用履歴 a (古地図の調査)	住宅地図・航空写真など (図書館調べ)	閲覧資料 住宅地図 昭和(32,37,45,48,51,62) 平成(3,7,13) 航空写真 昭和(49) 平成(元)	
	⑦ 土地利用履歴 b (謄本等調査)	登記事項証明書 閉鎖登記簿謄本 調べ	所有権保存 大正 11 年 伊藤 一郎 所有権移転 昭和 50 年 伊藤 子 昭和 63 年 伊藤 子	

- 注1** 地盤の軟弱診断) 一般的な戸建住宅を対象としていますので、マンションなど3階建て以上の場合には参考にならないことがありますのでご注意ください。
- 注2** 土地の履歴調査) ④土壌汚染状況調査対象 (有害物質使用特定施設) の調査は、調査地が東京都内に限ります。
- 注3** 土地の履歴調査) 登記簿謄本、古地図に基づき、とりまとめた結果です。(登記簿謄本、古地図は添付されません) また、古地図や登記簿の所有者・利用者の名称から、土壌汚染の可能性を推定できない場合がございます。(〇×商店、株式会社△□など)
- 注4** 土壌の分析調査) 本診断は土壌汚染対策法・条例等が適用される工場等を対象とした調査ではありません。
- 注5** 土壌の分析調査) 土地の履歴診断 (地歴調査) の結果に基づく調査ではありません。
- 注6** 土壌の分析調査) 含有量基準は、特定有害物質が含まれる汚染土壌が直接摂取されるとききのリスクを評価して、表層土壌中に高濃度の状態で長期間蓄積し得ると考えられる重金属 (9 項目) が設定されています。

隣地の状況：道路で隔てない隣地には、内科 (病院) が確認される。

周辺の状況：周辺には過去にメッキ業、印刷業、ガソリンスタンド、電気店などが確認される。

【 診断結果 】
 土壌汚染対策法等に関係する土地ではないこと、古地図から主に住居やビルとして利用されていること、登記簿から土地の所有者は個人であった。しかし、隣地には土壌汚染の可能性のある業種が確認される。よって、土壌汚染の可能性は“**低～中**”と評価されます。

【診断結果に対する次のステップ】 ※軟弱地盤の判定及び土壌汚染の可能性がある場合は、以下をご参考下さい。

下記は記載例で、前ページまでの診断結果と異なります。

軟弱地盤)

本診断で、軟弱地盤である確率が高いため、戸建住宅等の建築予定にある場合は、事前に地盤調査を実施する必要があります。

土壌汚染)

本診断で、土壌汚染の可能性が“高”と評価され、直接摂取のリスクも“高”と評価されました。ボーリングによる土壌汚染の詳細把握を実施した上で、今後の土地利用を考慮した対策の実施が必要です。

【土地の履歴調査の閲覧資料】

■古地図関係

- ・ 東京都全住宅地図帳 昭和 32, 37 年発行 (閲覧場所：東京都立図書館)
- ・ 全住宅案内地図帳 昭和 45 年発行 (閲覧場所：東京都立図書館)
- ・ 全航空住宅地図 昭和 48 年発行 (閲覧場所：東京都立図書館)
- ・ 東京都航空住宅地図帳 昭和 51 年発行 (閲覧場所：東京都立図書館)
- ・ ゼンリンの住宅地図 昭和 62 年, 平成 3, 7, 13 年発行 (閲覧場所：東京都立図書館)

■航空写真

- ・ 「国土画像情報 (カラー空中写真) 国土交通省」 昭和 49, 元年撮影

【診断の添付資料】 ※別冊に添付

- 地盤の軟弱診断 1. GEODAS 簡易地盤診断書
- 土地の履歴調査 2. 登記簿 (登記事項証明・閉鎖登記簿謄本)
- 3. 土地利用の概要と土壌汚染の可能性
- 土壌の分析調査 4. 土壌採取位置
- 5. 現場作業状況
- 6. 濃度計量証明書

本診断に関するお問合せ

ジオテック株式会社 環境事業部
〒161-0033 東京都新宿区下落合 2-3-18

Tel 03-5988-0715 Fax 03-5988-0721 <http://www.jiban.co.jp>



御中

宅地リスク情報提供サービス
Estate-Risk-Information-Service

地盤・土地・土壌の診断書

調査地 : (住居表示) 東京都渋谷区恵比寿 1 丁目 13 番地 6

(地番) 東京都渋谷区恵比寿 1 丁目 9 番地 2

調査期間 : 平成 15 年 12 月 8 日 ~ 平成 15 年 12 月 9 日

診断結果

● 地盤の軟弱診断 (戸建住宅対象)	調査地が「軟弱地盤」である確率 21% 0% 50% 100%
	“わが家の耐震診断”の「地盤分類」 良い・普通 やや悪い 非常に悪い
● 土地の履歴調査	調査地の「土壌が汚染されている」可能性 低 (低~中) 中 高
● 土壌の分析調査	採取した土壌の「直接摂取のリスク」 低 (低~中) 中 高

上記判定は当社判定基準によるものです